

年頭のごあいさつ

地域資源を観光に結びつけ

洞爺湖温泉誕生100年記念の成功を！

洞爺湖町長 長崎良夫



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかな新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年のサミット開催で蒔いた種が、少しづつ萌芽してきていることを感じさせる1年でありました。

7月3、4日に全国16市町の首長が参加して、「縄文シティサミット」が当町で開催し、8月に入りますと、洞爺湖有珠山ジオパーク

クが、島原半島、糸魚川と同時に、日本初の世界ジオパークとして認定されるといふ大きな出来事がありました。

中国からの旅行者は、同国内の北海道ブームもあり、昨年から4倍近く増加しました。

このような流れは、私達ふるさとの自然や景観が、国際的に比較しても全く遜色ないことを明らかにしてくれたと同時に、今一度地元住民が誇りとして再認識していく必要性も求められるところでは、

一方ここ数年の懸案事項となっております財政の健全化につきましては、リーマンショックに始まる世界同時不況による景気低迷が続く、デフレによる税収の落ち込みなども加わり、厳しい状況が続いています。

緊急の課題である実質公債費比率の低減と収支の均衡を図るために、身の丈に合った歳出構造の確立と新たな需要に対応できる柔軟な財政構造へ転換すべく、「洞爺湖町財政健全化計画」を策定し、早期改善を図っていきたくと考えております。

今年、洞爺湖温泉誕生から1世紀、100年の節目の年を迎えます。観光を主とする当町にとりまして、世界ジオパークの認定などふるさとの世界的な地域資源を、観光につなげていく新たな機会です。

同時に農漁業と観光業を結びつけ、地場の豊富な野菜、新鮮な魚介類や和牛などの食材を活用し、ブランド化することで発信力を強化し、洞爺湖温泉街に賑わいを取り戻す飛躍の年となるよう、町民皆様のご協力をお願いする所です。

町民の皆様のご多幸をご祈念し年頭の挨拶と致します。

なお、例年町民各位から年賀のご挨拶をいただいておりますが、返礼は公職選挙法に抵触することから、まことに申し訳ありませんが、差し控えていただきますことをご理解いただきたいと思います。